

# 「過去問」出題OK

## 08年度入試から17大学が相互利用

岐阜大学（黒木登志夫学長）を中心に、お茶の水女子大や日本医科大など全国の国公私立17大学が、2008年度の入試から、それぞれが著作権を持つ過去の入試問題について、自由に利用できる協力関係を結ぶことを決めた。入試の度、他大学の過去問題をチェックする手間が省け、過去問題との類似を避けようとする余りの、珍問・奇問を減らせるとして、17大学はほかの大学にも参加を呼びかけている。

入試では毎年、他大学の過去問題を詳細に調べ、出題されていない独自の問題を作る必要がある。部分的に似ているだけでも、大学側の過誤として、予備校などが指摘することがある。このため、黒木学長が、お茶の水女子大などに働きかけた。参加大学は「大学入試過去問題活用宣言」を出して、過去問題を公表すれば、同じ問題を出題できるほか、問題の一部を交えて出題することも可能。受験生には入試要項や大学のホームページで、事前に周知する。

文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室は「良質な問題作成につながるという観点から期待がもてる」としている。参加大学は次の通り。

【国公立】旭川医科大、弘前大、山形大、宇都宮大、お茶の水女子大、静岡大、名古屋市立大、岐阜大、岐医科大  
【私立】順天堂大、桜美林大

読売新聞  
2006年11月18日(夕刊)  
※無断転載不可